

きびじつるの里の在り方を考える決議について

きびじつるの里については、岡山県自然保護センターから国の特別天然記念物タンチョウを譲り受け、保護と繁殖を目的とした研究飼育施設（岡山県自然保護センターのサブセンター）として観光センターの建設に合わせ整備をしたものであるが、平成15年度の開園以来、年間維持管理経費が常駐の職員の人件費を含め3,000万円以上かかっており、経常的に財政に重くのしかかっている。

市議会では毎年、予算決算審査の過程で維持管理の在り方の見直しや経費の縮減、費用対効果、本市に存在する意義などを質してきている。しかし、当局においては、一向に打開策が見いだせない状況にある。

よって、本市に真に必要な施設なのかどうか、健全な財政運営を維持するためにも、タンチョウの移転も含め早急に関係機関と協議調整し、きびじつるの里の在り方を見直すことを求める。

以上、決議する。

平成27年9月18日

岡山県総社市議会